

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	ふじのくに静岡県の競争力強化のための成長基盤となるICアクセス道路整備計画									
計画の期間	平成26年度	～	平成30年度(5年間)	交付対象	静岡県、御殿場市、富士市					
計画の目標	整備が進む新東名高速道路、伊豆縦貫自動車道等の高規格幹線道路の整備効果を県内各地に波及させるため、アクセス道路整備を行うことで、静岡県の立地競争力の強化を図る。									
計画の成果目標(定量的指標)	中心都市等への30分行動圏人口カバー率を93.2%(現況値)から93.9%(平成29年度値)に向上させる。 県内の工業団地の分譲を促進させ、県内都市の立地競争力を強化させる。									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)		最終目標値 (H30末)	
① 中心都市等への30分行動圏人口カバー率 (30分行動圏人口カバー率) = (高規格幹線ICおよび地域中心都市へ30分以内に到達できる地域に居住する人口) / (県人口)						93.2%	-	93.9%		
② ICへのアクセスが向上することにより、立地競争力を高めることができる分譲団地及び主要工場の敷地面積(ha) (主要工場: 従業員300人以上の企業の工場)						0ha		104ha		
③										
全体事業費	合計 (A+B+C)	14,604 百万円	A	14,384 百万円	B	0 百万円	C	220 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ									
第2期 (H20~H24)					第3期 (H25~H29)				
分野名	活力・交流				分野名	活力・交流(陸・海・空の交通ネットワークの拡充)			
目標名	都市・地域交通の快適性、利便性の向上				目標名	道路網の強化			
指標名	中心都市等への30分行動圏人口カバー率		目標値 (H24)	####	指標名	中心都市等への30分行動圏人口カバー率		目標値 (H29)	93.9%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄) - : その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))  
(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入、未定は空欄))

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30			
A01-001	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)414号 須原拡幅	現道拡幅 4.2 km	下田市~河津町						350	△	R1
A01-002	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)136号 下船原バイパス	バイパス 0.8 km	伊豆市				補助化	2,600	●	H31.1	
A01-003	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)136号 函南~三島バイパス①	バイパス 1.9 km	函南町					30	○		
A01-004	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府県道	改築	(主)大岡元長窪線 下長窪	現道拡幅 0.5 km	長泉町				移行	218	▲	R3.3	
A01-005	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)469号 御殿場バイパス	バイパス 0.9 km	御殿場市					1,405	△		
A01-006	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府県道	新設	(一)仁杉柴怒田線 仁杉	バイパス 1.5 km	御殿場市				補助化	2,723	▲	R3.3	
A01-007	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(市)0106号線 柴怒田	バイパス 0.42 km	御殿場市					671	△		
A01-008	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)473号 大代拡幅	現道拡幅 1.4 km	島田市				移行	100	▲		
A01-009	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	国道	改築	(国)414号 静浦バイパス	バイパス 5.1 km	沼津市				移行	2,850	▲		
A01-010	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府県道	改築	(主)焼津森線 下当間	現道拡幅 1.34 km	藤枝市					600	▲	R3.3	
A01-011	道路	一般	静岡県	直接	静岡県	都道府県道	改築	(一)富士由比線 新々富士川橋	橋梁新設 1.4 km	富士市					2,700	△	R3	
A01-012	道路	一般	富士市	直接	富士市	市町村道	改築	(市)上町小山線ほか 岩淵	現道拡幅 0.2 km	富士市					33	△		
A01-013	道路	一般	御殿場市	直接	御殿場市	市町村道	改築	(市)3679号線 町屋	バイパス 0.45 km	御殿場市					104	○		
											合計	14,384						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H26	H27	H28	H29	H30			
											合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30				
C01-001	施設整備	一般	静岡県	直接	静岡県	改築	(国)136号(江間改築)交通円滑化	江間ICフルインター整備	伊豆の国市		移行					220	▲	R2
											合計	220						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考						
C01-001	東名・新東名から伊豆市に至る約30km区間において唯一残る信号機のある平面交差点を立体化することで、伊豆縦貫自動車道へのアクセス性を向上																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・伊豆縦貫自動車道「東駿河湾環状道路」(三島塚原IC～函南塚本IC)の整備と合わせ、アクセス道路となる(国)136号函南～三島バイパスを整備したことにより、主に熱海市方面からの高規格幹線道路ICへのアクセスが向上した。					
II 定量的指標の達成状況	指標①(中心都市等への30分行動圏人口カバー率)	最終目標値	93.90%	目標値と実績値に差が出た要因	・(目標値=実績値)		
		最終実績値	93.90%				
	指標②(ICへのアクセスが向上することにより、立地競争力を高めることができる分譲団地及び主要工場の敷地面積)	最終目標値	104ha	目標値と実績値に差が出た要因	・当初時点では、H30末までの完成供用を視野に入れて事業推進することとしていた箇所がアクセス向上に寄与する工業団地等の敷地面積を目標値として設定したが、用地交渉難航により事業進捗が遅延したため、H30年度末時点でアクセス向上させることができなかった。(これらの対象箇所を含む複数の事業箇所では、R2年度末の完成供用を目指して事業を進めており、2箇年遅れで目標を達成する見込みとなっている。R2年度末見込み:133ha)		
		最終実績値	0ha				
	指標③( )	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因			
		最終実績値					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>中心都市等への30分行動圏域内においても、狭隘区間の拡幅やバイパス整備が進み、産業活動や地域生活の支援等が図られている。 国道136号下船原バイパス(H31.1完成供用) →伊豆縦貫自動車道「天城北道路」と同時に供用され、河津桜まつり期間中や夏季の休日には激しい渋滞が発生していた出口交差点においても渋滞がほぼ解消される等、西伊豆や伊豆半島南部へのアクセスを格段に向上させ、観光交流の促進に寄与している。</li> <li>直轄事業の東駿河湾環状道路と一体的に整備した(国)136号函南～三島バイパスの完成・供用により、開通直前と比べて函南町での分譲住宅戸数が4.5倍、大規模な商業施設数が5店舗から9店舗に増加し、豊かな生活環境の向上に寄与している。</li> </ul>					

3. 特記事項(今後の方針等)

・新たな整備計画や個別補助事業に引き継がれて継続中の事業を推進し、ストック効果を高める高規格幹線道路や工業団地へのアクセス道路の整備、交通円滑化を図る渋滞対策等を進めていく。  
 ・引き続き、関係市町と連携し、国やNEXCO中日本(株)に伊豆縦貫自動車道など高規格幹線道路の整備促進を働きかけていく。

(様式6-1) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	ふじのくに静岡県の競争力強化のための成長基盤となるICアクセス道路整備計画		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	静岡県、御殿場市、富士市

